

## サイエンステクノロジーへの期待

南紀サーフィンクラブ・南紀の自然を守る会  
代表 角 直

ポリネシアン、インディアンなどと同じような自然信仰、又それらの象徴を数多く有する地域が私の住んでいる熊野地方には多くみられます。何かを（自然）を犠牲にして生み出したり、開発したり又、作り出すよりもこうした自然を後世に残す事の大事さ、それゆえ子供たちに伝えていきたい自然の中で過ごす時間の大切さ、現在までの防災対策や河川及び港湾整備にみられる自然を攻める（海岸線や河川を埋め立てせり出していくなどまた巨大な防波堤や消波ブロック積み上げなどにみられるヘッドラント工法）行いではなく自然現象を考慮し、より優れたサイエンステクノロジーで生態系への十分な配慮や、私達人間の情緒や、心の安定に大変大きな役割を持つ又人生の思い出の中の重要な部分を占める景観への配慮を大いに期待します。現在日本のサーフィン人口は増え続け又、高齢者のサーファーも増えています。しかし高度成長の頃から日本中の多くのサーフポイントが消滅し、いままだ現存しているポイントも温暖化や河川の砂利採集他、多くのことが原因で波のクオリティーが悪化の一方をたどっています。おまけに現在の情報の多様化によって何処もかしこもポイントパニックになっています。（私のホームポイントのリバーマウスの上流で砂利採集をしてその砂利で消波ブロックを作りその川の河口に投入するようなこと。）

私の地元では近年養蓄漁業のための漁礁ブロックや海水浴場などの養浜の為の潜堤などの、影響におけるライダブルな波も幾つかみえるようになってきた。漁礁ブロックや潜堤などに数年たつと鮑やサザエ、岩牡蠣、ウニなど地域にとって特産物となる大変好都合な副産物が生み出されています。私はこれらの潜堤や漁礁ブロックにスウェルがヒットし波がピーリングしだす光景を見ていつももう少し工夫すればもっとパーフェクトでライダブルな波が立つのを想像します。自然本来のライダブルなブレイクもベストですが、たとえ棚が岩礁やコーラルリーフでなくても、目の前でライダブルで美しい魅惑的なサーフブレイクがあればサーファーなら誰もが心躍らせて個々のサーフボードを手にしてサーフすると思います。私個人の思いですが、多くの人達が今日始めて出会い、色々な角度から意見や考え、思いを話し合い現在の海や海岸線など自然環境などに対する大きな所の考えや方向は、大きくかけ離れているとは思えません。これからのサイエンステクノロジーに期待するバイブレーションは理解し合えるものと思います。

海的环境、自然環境をより大事に守っていく、出来る事なら取り戻していく大きな手立ての一つとして、子供達に海の楽しさ素晴らしさを伝えていくようなサーフィン環境を作る動きになってゆけばと思っています。

言葉足らずですが、今日はお招き頂きましてどうも有り難う御座いました。